

平成 24 年度 第 3 回 横浜市救急医療センター指定管理者選定評価委員会 議事録	
日 時	平成 24 年 12 月 7 日(金) 19 時から 20 時 30 分まで
開催場所	横浜市救急医療センター 3 階研修室
出席者	遠藤 淳子、おち とよこ、恩田 清美、河原 和夫、林 宗貴
欠席者	なし
開催形態	公開
議 題	1 議事 (1) 評価の決定及び評価委員意見について (2) 評価報告書の構成について
議 事	<p>1 開会</p> <p>(事務局) それでは、定刻になりましたので、第 3 回横浜市救急医療センター指定管理者選定評価委員会を始めます。私は、本日司会を務めさせていただきます、健康福祉局地域医療課長の藤井でございます。本日の会議では、皆さまからいただきましたご評価やご意見をもとに、委員会としての評価報告書の検討をお願いいたします。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>開会に先立ちまして、まず、医療政策室長の増住から御挨拶を申し上げます。</p> <p>(増住室長) 皆さん、こんばんは。医療政策室長の増住です。</p> <p>本日は、お忙しい中、また遅い時間にも関わらず、お集まりいただきまして、ありがとうございます。</p> <p>この委員会は、横浜市救急医療センターの指定管理者による指定管理業務について、横浜市及び指定管理者である横浜市医師会とは異なる客観的な視点に立って、管理運営水準等を評価することで、さらなる業務改善の取組を行い、サービスの向上努めることを目的に開催させていただき、本日は第 3 回目の委員会となりました。</p> <p>委員の皆様にはおかれましては、この間、それぞれの立場から、横浜市救急医療センターについて、施設の視察、各種膨大な資料の御確認を始め、本当に熱心にご審議いただき、ありがとうございました。</p> <p>今回の会議は、横浜市救急医療センターの第三者評価をまとめる運びとなります。この評価をまとめるにあたり、委員の皆様から、本当に貴重なご意見をいただいております。これらの皆様の貴重な御意見につきましては、評価報告書に記載される内容はもちろんですが、それ以外の御意見につきましても、今後の施設運営の参考とさせていただきますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>今後とも、指定管理者である横浜市医師会と協働して、市民サービスの向上に</p>

取り組んでまいりますので、改めまして、委員の方々におかれましては、忌憚のないご意見、ご議論をお願いしたいと思います。どうぞ、よろしくお願いいたします。

(事務局) ありがとうございました。

委員の方々をお願いがございます。本日の委員会につきましては、議事録を作成する関係から、その補助として録音機を使用させていただきたいと思っておりますので、ご了承いただきたいと思っております。

後ほど、改めてご説明いたしますが、評価委員会の会議は設置要綱第9条にありますとおり、原則として公開することとなっております。なお、本日、当委員会の傍聴を希望される方はいらっしゃいません。

それでは、まず最初に本日の配布資料の確認をさせていただきます。

資料を7点ご用意させていただきました。

まず、「第3回横浜市救急医療センター指定管理者選定評価委員会の次第」でございます。次第を1枚おめくりいただくと、2ページに「委員名簿」、次ページには「席次表」がございます。

次に、資料1として「第三者評価終了までの進め方について(案)」でございます。続いて、資料2として「評価結果一覧表(案)」でございます。

最後に、「横浜市救急医療センター指定管理者選定評価委員会運営要綱」を添付しております。

続きまして、別冊として、資料3がございます。

「評価シートの「第三者評価委員会意見」欄への記入案」でございます。

こちらは、議事で使用いたしますが、1ページから、両面刷で最終ページが15ページとなっております。

続きまして、別冊として、資料4がございます。

「横浜市救急医療センター 指定管理者選定評価委員会 評価報告書(案)」でございます。

こちらも、議事で使用いたしますが、1ページから、両面刷で最終ページが7ページとなっております。続きまして、厚手のものがございます。「別冊：救急医療センター評価シート」でございます。こちらも、議事及び審議で使用いたしますが、1ページ目に目次があり、両面刷で最終ページが38ページとなっております。

続きまして、「第2回目の議事録」でございます。第2回目の終了後、委員の先生方には内容をご確認いただいておりますが、改めてお配りします。何かご意見ありましたら、事務局までお知らせください。

会議の議事録につきましては、委員の皆さまに御承認いただきました後、ホームページ上で公開することとなりますので、よろしくお願いいたします。

また、委員の先生方だけに配布させていただいておりますが、「基礎資料」と「事実確認資料」でございます。この資料の内容は目次に記載のとおりとなりますが、

指定管理の申請書等の基礎資料及び事務局での事前確認の際に救急医療センターからご提出していただいた資料となりますので、審議に際しての参考資料としてご活用いただければと存じます。

資料の不足等がございましたらお申し出ください。よろしいでしょうか。

<資料の不足なし>

議事が入る前に、本委員会の定足数についてご報告させていただきます。当委員会の委員総数5名に対し、本日の御出席者は、全員の5名であり、要綱第7条の規定による定足数を満たしておりますので会議が成立していることを御報告いたします。

それでは、議事に入らせていただきます。進行は河原委員長にお願いしたいと思います。よろしくお願いたします。

(河原委員長) みなさまこんばんは。本日は、この委員会の目的である第三者評価の意見書をまとめていく会議となります。会議としては、最終回となる予定です。皆さまの忌憚のないご意見をいただき、救急医療センターの施設運営に活かし、救急医療センターの更なる市民サービスの向上につなげる会議としていきたいと考えています。何卒よろしくお願いたします。

それではただいまから、「横浜市救急医療センター指定管理者選定評価委員会(第三者評価委員会)」第3回目の委員会を開会いたします。時間の関係もごさいますので、議事進行について、ご協力をよろしくお願いたします。

それでは、次第に従い、議事を進めてまいります。

3の本日の会議及び第三者評価終了までの進め方について、事務局からご説明願います。

(事務局) それでは、ご説明させていただきます。次第の裏面にあります第三者評価終了までの進め方でございます。本日、第三回の評価委員会ということになっておりますが、本日の選定評価委員会では、各項目に対する委員会としてのABCの評価をつけていただきます。見本で言いますと、評価報告書の裏面の所に、見本がありますが、上の段の第三者評価委員会としての評価を決定していただきます。③としまして、第三者評価の意見欄の記入内容の御検討、最終的には、評価報告書の構成を含め、ご検討していただき、2の評価報告書の確定としては、(1)にございます。評価報告書(案)に対する、追加意見等の提出ということで、評価委員会の御意見を受けまして評価報告書(案)を修正、作成いたします。その内容につきまして、本日の会議に出されたご意見以外でもお気づきの点があれば、12月14日までに、事務局宛にEメール又は電話でお知らせください。

(2)ですが、本日の御意見を参考に、いただいた御意見を元に、案について、

事務局と河原委員長に相談させていただき、加筆等必要な修正をさせていただきます。

(3)ですが、その後、事務局の方から各委員の方に向けて、報告書(案)を送付させていただきまして、最終的な御確認をいただくという流れで進めたいと思います。まとめました評価報告書は、事務局の方から健康福祉局長宛に提出させていただきます。また、ホームページの公開ということで、2月上旬頃になるかと思いますが、評価報告書及び評価委員会会議録をホームページの方で公開させていただきます。

なお、第三者評価委員会の施設運営に関する反映でございますが、第三者評価委員会からいただいた、指摘や提案につきましては、今後の施設運営に反映させるよう調整させていただきたいと思います。また、次期指定管理者の公募の際、その内容も反映させていきたいと考えております。以上でございます。

(河原委員長)ありがとうございました。ただいま、進め方のご説明がございましたが、なにかご質問等がありますでしょうか。よろしいでしょうか。

<質問なし>

(河原委員長) それでは、続きまして、議事の4の(1)評価報告書 ア 評価の決定及び評価委員会意見について、事務局からご説明をお願いいたします。なお、議論の進め方として、評価項目の大項目毎に、質疑を行う形にしたいと存じますので、よろしく申し上げます。それでは、事務局からご説明をお願いいたします。

(事務局) それでは、まず、「評価結果一覧表(案)」について、御説明させていただきます。お手元の資料2をご覧ください。

上段の「考え方」にあります。①選定評価委員会として各項目に対するABC評価をつけることとございます。②にありますとおり、大項目別や全体としてのABC評価は付けない取扱といたします。

次に、評価結果でございます。

委員の先生方の評価をまとめさせていただいたものと、あくまでも案でございますが、委員の皆様の評価の多数であったものを、選定評価委員会の評価としてまとめさせていただいたものでございます。

それぞれの項目ごとに、各委員の先生方の評価が一致しているものと、評価が分かれているものがございます。評価が分かれているものについては、グレーで色付けをしてありますが、Ⅰ総則の「6 職員間での情報共有化(コミュニケーション)」が、A評価4、B評価1、続きまして、Ⅱ施設・設備の維持管理の「5 災害時等緊急時の対応体制の構築」がA評価3、B評価2、続きまして、Ⅲ夜

間急病センターの適切な運営の「3 患者の安全管理」と「8の適切な利用情報の提供」が、A評価4、B評価1、「10 事故防止対策への取組」がA評価3、B評価2、そして、「13 医療廃棄物」が、A評価4、B評価1となっています。

結果としまして、全体的には指定管理者様の自己評価と、同じ評価となっています。

続きまして、評価シートの「第三者評価委員会意見」欄への記入案について、御説明させていただきます。

お手元の資料3をご覧ください。

上段の「第三者評価意見欄への評価委員会意見の反映について」に記載させていただいておりますが、

一番左から、評価項目、真ん中に委員会記入案として評価シートに記載する意見のたたき台の案、一番右側に委員の先生方に記載していただいたご意見について、記載してございます。

資料のとおり、委員の先生方から、非常に短い時間の中で、様々な視点から多くの貴重な御意見をいただいております。本当にありがとうございました。

それでは、I 総則の意見記入欄について、御説明させていただきます。

(事務局) < I 総則の意見記入欄について、資料3の読み上げ >

なお、アンダーライン部分につきましては、意見欄記入案として、その表現等を参考にさせていただいた部分につきましては、表示したものでございます。

(河原委員長) はい、ありがとうございました。事務局からも最初にご説明ありましたが、短期間で、様々な多角的な御意見をいただきまして、資料3に具体的な評価委員の御意見を書いておりますが、読み上げて説明がございましたが、何か委員の皆さまからご質問やご意見等はございますか。

それぞれの委員の先生方は御意見を出していただいたかと思っております。自分の意見と合わないところなどありますか。特にI-6は最終評価も自己評価も同じですが、一人B評価の方もいらっしゃる、意見が分かれているところではあります。これも含めて、全体的に報告書に盛り込む意見の内容としては、今事務局から説明がありましたけれども、何かございますか。

<特になし>

(河原委員長) 時間の関係もございますので、Iは事務局が読み上げた意見ということで、ご承認いただくということで、よろしいでしょうか。もし、会が終わるまでに、ご意見ございましたら、戻っていただいて構いません。

(遠藤委員) I-2のコンプライアンスですが、最初に定期点検・設備保守については、適切に実施できているので、今後も継続して実施してほしいとありますが、コンプライアンスとは、もっと広い意味を持つため、こちらに意見を記入することは、適切でしょうか。次の設備の所に入る内容のような気がします。コンプライアンスのところに、こちらの具体的な意見を入れるのは、違和感を感じたのですが。

(河原委員長) 法令遵守となっていますが、確かに接遇的な内容になります。こちらについて、事務局いかがでしょうか。

(事務局) 確かにそのように見えますので、検討させていただきます。調整させていただきます。

(河原委員長) では、検討をお願いします。他は、よろしいでしょうか。全体を通じた方が、個別のところもわかるところもあるかと思しますので、Ⅱに進ませてもらいます。Ⅱは、施設・設備の維持管理です。事務局の方から説明をお願いします。

(事務局) <Ⅱ施設・設備の維持管理の意見記入欄について、
資料3の読み上げ>

(河原委員長)
ありがとうございました。Ⅱ施設・設備の維持管理でございます。これについては、いかがでしょうか。特にこれは、Ⅱ-5がAとBが3対2ということで、Aが3で一人多かったということで、Aという判定になっておりますが、特にⅡ-5のところは、いかがでしょうか。表現や委員の皆さまの真意は入っていますでしょうか。Ⅱ-5以外のところでも結構ですが、大項目Ⅱについて、何かご意見ございますか。

(恩田委員) Ⅱ-5ですが、評価が3対2ということで、過半数ではあるのですが、事務局の表記の内容を読んでも、Aという内容にはなっていないような気がするのですが。今日も地震がありましたし、これから色々なことが起こりうる可能性がありますので、前向きに取り組むということで、評定のことはまだ言われていないのかもしれませんが、Aでよいのかなという疑問がございます。

(河原委員長) 今の問題提起について、委員の皆さま、いかがでしょうか。この辺りは、横浜市自体とも関わりますから。BCP的な考え方で、災害時のマニュアル整備に努めるとともに代替職員の検討等も含めて災害対策を進めて欲しいと

というのは、BCP的な考え方が盛り込まれているような感じもいたしますが、進めてほしいという表現ですが、「望まれます」、「べきである」、「ください」等、結びがやさしい表現かもしれません。3対2ということを加味しますと、もう少し強く言うことも必要かもしれないというご意見だったかと思いますが、先生方がいかがでしょうか。

(林委員) 私自身だけの考えかもしれませんが、評価としては、Aでも良いと思いますが、先ほど委員長がおっしゃったように、表現としての工夫が必要で、例えば、固有のマニュアルを早急に作成してください、と要望を強く出したコメントにして、コメント付Aと言いますか、そのような表現でいかがでしょうか。

(河原委員長) 解決すべき課題はたくさんあると思いますので、指定管理者だけでもできませんので、市の方と早急に協議して、あるいは他の関係者とも協議しながら、整備してくださいという表現で、事務局の方がいかがでしょうか。

(事務局) ただいま、ご提案いただきました、コメント付のAということで、少し表現を変えさせていただきます。

(河原委員長) よろしいでしょうか。Ⅱ-5については、よろしいでしょうか。他の項目いかがでしょうか。大項目Ⅱについては、よろしいでしょうか。

<特になし>

(河原委員長) 続きまして、Ⅲの夜間急病センターの適切な運営について、事務局からご説明をお願いいたします。

(事務局) <Ⅲ夜間急病センターの適切な運営について、資料3の読み上げ>

(河原委員長)
ありがとうございました。委員の先生方の意見が分かれているところが、4項目ほどありますが、全体で大項目Ⅲに関して、委員の皆さまからご意見等があればお願いいたします。

(おち委員) Ⅲ-3のところ、他とも関係するところですが、患者の安全管理という部分とⅢ-10の事故防止のところ、インシデント・アクシデントのレポートの取扱が重複して、記述されていて、Ⅰ-7のところ、利用者の意見・苦情を抽出する仕組みでも、インシデントレポートの話があります。どちらかで統一することも考慮すると、利用者の意見のところ、インシデントレポートが出て

くることは、違和感があるような気がします。それを夜間急病センターの方だけで扱うのがよいのか、その辺りも含めてどこかで整理して、コメントとした方がよいような気がしております。

それから、もう一つ、後で御検討いただきましたのですが、意見の書き方として、事実としてこうあってよいとか、事実関係については、○をするとか、こちら側からの提案や希望の場合は、※印とする等、わかりやすい記載があった方が、Aの意味やAの幅がわかると思いました。

(河原委員長) ありがとうございます。インシデントアクシデントレポートに関する事項については、3か所くらいに出てきておりますが、ご指摘のとおり、1つとして、夜間急病センターの運営の方に統合した方がすっきりするのではないかと、というご意見だったかと思えます。確かに、初めのIの利用者の意見のところに出てくると、表題とかけ離れているので、夜間急病センターの運営の方に移すことはできますか。

(事務局) はい、I-7の項目だと違和感があるとのことでしたので、例えば、Ⅲ-10とかに移すということですね。

(河原委員長) もう一つ、現状と意見の混在していることについて、分けるような印を付けることについては、確かに、市民の方から見た時に、その方が読みやすいですね。これについては、委員の先生方よろしいでしょうか。

<異議なし>

(河原委員長) そのように現状と意見がわかるような形で、印を付けていただければと思います。他何かご意見ございますか。

(恩田委員) Ⅲ-10の項目の事務局の一番最後の文末ですが、こちらの項目は、事故防止対策の取組なのですが、サービスの向上に結び付けることが望まれるという文末に少し違和感があるのですが。確かに安全と質とサービスと言われれば、表裏一帯の部分もあるとは思いますが、もう少し、表現の工夫があった方がよいような気がいたします。

(河原委員長) そうですね、サービスと言いますと、こちらが行っている全ての活動になりますが、こちらの項目は、医療事故に関することになりますので、この辺り、医療事故を念頭に入れて、結びを変えていただけますか。

(事務局) はい、わかりました。

(河原委員長) 他、何かありますでしょうか。

(おち委員) Ⅲ－８の適切な利用情報の提供のコメントですが、１つ目が、センターからのお知らせは、最新のものに全てアップされているので、わかりやすくなっていると書かれていて、２つ目のコメントでは、一般市民に分かりやすく、利用者が知りたい情報になっているかを検証した方がよいとなっており、１つ目と２つ目の整合性という面から、読み手にわかりづらい表記になっているように感じます。１つ目の方は、ホームページとかに限定されて、最新のものにアップされているということでしたら、わかるような気がします。

(河原委員長) そうですね、主体がはっきりしないですね。

(事務局) ご意見をまとめる際、事務局としても、最新の物でわかりやすいという部分と、よりわかりやすい形で検証するという部分を入れた方がよいのではないかと趣旨で、両方入れさせていただきました。矛盾する部分もあるかと思えますので、検討させていただきます。

(河原委員長) はい、わかりました。

(林委員) Ⅲ－４院内感染対策についてですが、市民が読むということを考えると、少し詳細すぎるかなというのが第一感です。こちらの項目については、指定管理者もB評価で、委員会からもBで受けているところですが、メインのところは、感染対策指針の定期的な見直しになるため、そのところを主体で書いて、うがいとかは、励行していないと読めるかもしれないため、この辺りは割愛してもよいのではないかと思うのですが、いかがでしょうか。

(河原委員長) 委員の先生方、今のご提案いかがでしょうか。

<賛同>

(河原委員長) うがいとかは、取ってもいいところかと思えます。一般的なことで、医療機関に限ったことではないと思えますので、よろしいですか。こちらは、うがいとかの項目は割愛させていただきます。

院内感染のマニュアルは、例えば、広く、院外のインフルエンザ対策もそうですが、先ほどの災害のところにも通じると思えます。評価自体は、自己評価も委員会の評価もBなので、先ほどの、提案的な結び方の方がいいのではと思えますが、いかがでしょうか。林委員からもご指摘がございましたが、全体がB評価と

なりますので、改善の度合いが強くなりますので、提案的な結び方をお願いしたいと思います。

他、何かございますか。Ⅲに関してはよろしいでしょうか。

<異議なし>

(河原委員長) それでは、Ⅳの救急医療情報センターの適切な運営について、事務局からご説明をお願いいたします。

(事務局) <Ⅳ救急医療情報センターの適切な運営について、
資料3の読み上げ>

(河原委員長) ありがとうございました。大項目Ⅳについて、いかがでしょうか。この部分については、意見がわかれたところはございませんが、いかがですか。

(恩田委員) Ⅳ-3のところですが、救急医療情報提供で、救急医療情報センターの部分なのですが、適切な人員配置をして、待ち時間は少なくなったというのは、電話での対応時間が、短縮できたという意味合いになるのでしょうか。受診している人が、待っているイメージではなくて、対応される電話対応の方のことを言っているのか、その辺りがよくわからないのですが。適切な人員となり、と記述されていますが、項目との整合性を見た時に、表記がもしかしたら、ずれているのかなと思いました。

(事務局) 適切な人員配置については、救急医療センターのオペレータの数の増員という趣旨で理解をしております、わかりにくいという部分があれば、表現等について、改善させていただきます。

(河原委員長) 私たちはなんとなくわかりますが、市民の方はわかりづらい所があるかと思しますので、もう少し修飾語とか主語・目的語とか入れた方がいいと思います。

(事務局) 待ち時間という表現を工夫させていただきます。

(河原委員長) はい、目的語を入れるなど、工夫してください。

(林委員) 電話がつながる・つながらないということでしょうか。

(事務局) はい、そうです。

(おち委員) IV-7のところ、広報・PRの実施というところのコメントですが、1番目の方は、媒体が様々なところで行われているので、アピールがされているという事実が書かれているのですが、その次のところが、情報が利用者・市民に伝わりやすい工夫をお願いしたいとのことで、表記方法をわかりやすくしてほしいということと、さらに、ホームページだけではなくて、色々な印刷媒体ですとか、みんなの健康とか既存の物に工夫して載せていくとか、色々なものがあると思いますが、より広い意味での媒体の量を増やしてほしいという意味と両方の意味があると思いますので、先ほどの話にもありましたが、目的語や説明をいれていただけるといいかなと思います。

(河原委員長) ありがとうございます。そういうことで、文章をもう少し詳しく、お願いいたします。他はいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

続きまして、Vの収支状況について、事務局からご説明をお願いいたします。

(事務局) <V収支状況について、資料3の読み上げ>

(河原委員長) これについて、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

<特になし>

(河原委員長) 最後に、VIのその他について、事務局からご説明をお願いいたします。

(事務局) <VI その他について、資料3の読み上げ>

(河原委員長) ありがとうございます。いかがでしょうか。委員の皆さまからご意見等があればお願いいたします。

(恩田委員) その他の項目の中身は、今まで意見として出てきているところもあり、重複しているので、そこに出ていないもので拾い上げるか、若しくは、これであれば、なくてもいいような気がします。

(河原委員長) そうですね、災害とかは、先ほど出てきましたので、全体を通じて、かなり整理できるかと思います。今まで出てきていなかった項目は、どの項目でしょうか。

(事務局) 基本的には、何らかの形で、取り上げさせていただいております。

(河原委員長) 前の項目に含めてもいいかと思えます。もし、重複ばかりであれば、恩田委員がおっしゃるように、取った方がすっきりするような感じがいたします。

それでは、基本的に重複ということですので、他に該当部分があるので、こちらで取り上げていただくということで、もし、その他のところで、考え方とか述べられている部分があれば、始めにとか、どこかに入れていただければと思いますが、他、委員の先生方いかがでしょうか。

全体を通じてでも結構ですが、資料2のところで、もう一度確認したいのですが、自己評価があり、それから、この委員会の評価がありますが、まだ、委員会の評価が(案)になっていますが、(案)をとってもよろしいでしょうか。今まで審議した中で、票が割れたようなところもありますが、最終的に見れば、AかBの評価になっていますが、この案をとってもよろしいでしょうか。

<賛同>

(河原委員長) では、そのようにさせていただきます。全体を通じていかがでしょうか。

<特になし>

(河原委員長) よろしいですか。本日、様々なご意見をいただきましたが、皆様のご意見を元に、委員会としての意見をまとめさせていただきます。その反映については、委員長である私と事務局で協議し、内容を固めていくということによろしいでしょうか。

<異議なしの声>

(河原委員長) ありがとうございました。また、本日の会議とは別に、お気づきの点等がございましたら、事務局の方に連絡していただければ、そのご意見もできる限り、報告書に反映させていきたいと存じますので、よろしくお願いいたします。

続きまして、イの評価報告書の構成について事務局から説明をお願いします。

(事務局) それでは、4の(1)、イ 評価報告書の構成について説明させていただきます。資料4：評価報告書(案)をご覧ください。

こちらは、要綱第10条の「報告」において、最終的に報告の対象となる資料の案でございます。

ページをおめくりいただきまして、1ページ目には、1として、横浜市救急医療センターについて、概要でございます。こちらでは、救急医療センターは、横浜市の重要な初期救急医療体制として整備されており、夜間急病センターと救急医療情報センターで構成されていることのほか、一覧表で、開設年月日、所在地、延床面積や事業概要、施設概要、管理運営について報告させていただきます。

続きまして、2ページに移りまして、2 指定管理者第三者評価の概要として、(1) 指定管理者第三者評価の目的について報告させていただき、(2)として、河原委員長をはじめ、総勢5名の委員の先生方のご協力により、救急医療センターの指定管理者選定評価委員会を構成することができていることを報告いたします。また、先生方の所属する属性につきましては、要綱3条に基づく区分で、記載させていただいております。

続きまして、(3) 評価方法では、ア 評価の対象として、過去2年分の実績について評価していただくことや、イ 評価基準・評価項目については、①総則～⑤収支状況までの、5つの側面から評価していただいたことを報告させていただきます。

続きまして、次のページ、3ページをご覧ください。ウ 評価の手順についてです。①評価シートの作成、②指定管理者による自己評価の実施、③事務局による事実確認、④評価委員会による審議、⑤評価報告書の作成という、手順を取りまして、ご評価いただきました。

続きまして、(4) 評価委員会の開催経過でございます。こちらには、第1回目から本日第3回目までの評価委員会の開催状況について、まとめさせていただきました。

続きまして、次のページに移りまして、4ページ、救急医療センターの見取図と各階における建物概要でございます。

次のページに移ります、5ページをご覧ください。

3 評価結果について、でございます。こちらに(1)、評価結果一覧として、指定管理者様の自己評価と委員会としての評価をまとめさせていただきました。

委員会の評価で、空欄になっているところについては、当初委員の先生方のご意見が分かれていたところになります。本日、ご審議いただきましたので、この場のご意見を踏まえて、それぞれの項目に反映させていただきます。

続きまして、5ページ目の一番下の所になりますが、(2) 救急医療センター評価の詳細でございます。こちらにつきましては、次ページ以降に、詳細の評価シートが続く形となりますが、今回は、資料の都合により、目次と総則のI-1のみ、参考に付けさせていただきます。

実際には、評価シートの第三者評価委員会意見欄に、本日ご審議いただいた内容を、委員会意見として、記入した状態で、こちらの5ページ、(2) 評価の詳細として、以降、後ろに38ページほどの評価シートが続く形となります。また、それもちまして、最終形の報告書として、ご報告させていただく予定でございます。

資料4：報告書の構成に関する説明は、以上でございます。

(河原委員長) はい、ありがとうございました。何か今の説明に関して、ご質問やご意見はありますでしょうか。よろしいですか。

<特になし>

(河原委員長) それでは、一通り審議は終了したようですので、議事としては、その他がございますが、委員の皆さまから何かありますでしょうか。それでは、次第に従い、事務局から(1)意見の締切及び報告書の確認についてと(2)第2回会議の会議録の確認についてご説明願います。

(事務局) それでは、本日いただいた以外の御意見も含めまして、何かありましたら、12月14日(金)までに、事務局宛にご連絡をお願いいたします。また、連絡をいただいたものについては、委員長とよく相談させていただき、反映させられるところは、反映させていただきたいと考えております。

同時に、前回の第2回委員会の会議録を机の上にお配りしております。本日の会議録については、別途送付いたしますので、ご確認をどうぞよろしくお願いいたします。以上でございます。

(河原委員長) ありがとうございました。それでは、本日の議題はすべて終了しましたが、その他、なにかございませんか。

<特になし>

(河原委員長) それでは、本日の議題は、すべて終了いたしました。委員の皆さま方、本当に貴重なご意見をありがとうございました。様々な観点から、ご意見いただきまして、真摯な議論ありがとうございました。

それから、指定管理者の皆さま方、見学や資料等を通じて、本当に皆さま方が熱心に取り組まれているということは、委員全員が理解しており、そのように思っていますので、報告書も今後公に出ていくと思いますが、今後ともよろしくお願いたします。

それから、事務局も毎回貴重な資料等、ありがとうございました。色々、大変だったと思います。一言、御礼申し上げます。今日の議題は全て終了いたしましたので、これで締めたいと思いますが、どうもありがとうございました。進行を事務局にお返しします。

(事務局) 河原委員長、ありがとうございました。本日、この会議を持ちまして、

	<p>委員会終了となりますが、もうしばらく先生方にお手数おかけすることになりますけど、どうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございました。</p>
--	---

以上